

令和5年度福岡県糸島保健所運営協議会議事録

- 1 日 時 令和5年10月25日(水) 14時～15時
- 2 場 所 福岡県糸島総合庁舎 2階 大会議室
- 3 出席者 委員15名中14名出席(1名代理出席)
福岡県糸島保健福祉事務所 12名出席
傍聴者 なし

4 議 事

(1) 地域課題への取組み状況

- ① 新型コロナウイルス感染症へのこれまでの取組みと課題について
 - ア 糸島市
 - イ 糸島市消防本部
 - ウ 糸島医師会
 - エ 糸島歯科医師会
 - オ 糸島薬剤師会
 - カ 糸島医師会病院
 - キ 福岡県糸島保健福祉事務所

質疑

(質問)

独居老人について、把握しているのか。

(回答)

65歳以上の高齢者については、住民基本台帳から抽出した名簿を民生委員に配布している。また、避難所運営など非常時に使用可能なように名簿整備をしている。

(質問)

独居老人を日頃見守っているのは、先ず民生委員や組長と思うが、ケアマネージャーとは紐づけできていないのか。

(回答)

70歳以上は、民生委員による見守り対象のリストに上がるが、断られる場合もあり、必ずしも見守り対象とはならない。ただし、身体状況等の悪い方などについては、地域包括支援センターも把握している。

(質問)

日頃から見守っていないと、感染しても把握するのが遅れる。ケアマネージャーも連絡網に入れると早く把握できると思う。

(質問)

診療体制確立に向けた情報共有や研修会等の実施に関して、情報共有の相手方、研修内容を説明いただきたい。

(回答)

情報共有については、現在は管内の病院と、コロナ変異株の動向、コロナの発生状況や入院患者の推移などを共有しているが、情報共有先について広げる方向で検討している。

研修会については、11月に医師会と共催して、結核に関する研修と併せて新型コロナウイルス感染症に関する研修会を開催することが決定している。

(質問)

研修会の対象者は誰になるのか。

(回答) 事務局

管内医療機関と高齢者施設の医療職を中心とした職員。なお、内容は、院内や施設内感染対策を中心としたものになる。

② 部会報告

ア 救急医療部会報告

イ 保健事業部会報告

ウ 精神保健福祉部会報告

質疑

なし

(2) 福岡県糸島保健福祉事務所の令和4年度主要事業の実施状況及び令和5年度重点事業

① 総務企画課

② 健康増進課

③ 保健衛生課

④ 社会福祉課

上記各課より事業の実施状況及び重点事業の説明

質疑

(質問)

高齢の行方不明者の発生をよく耳にするが、認知症や軽度認知障害に関する事業は取り組まないのか。精神障がいに含まれるのか。

(回答)

認知症に関しては、市の対策として、認知症初期集中支援会議が毎月開催され、検討が行われている。当所においては、市と連携を取りながら、精神障がいの括りで、必要なケースを心の健康相談等でフォローしている。

(回答)

補足させてもらおうと、認知症に関しては、認知症初期集中支援チーム員会議を毎月、10年間程続けて開催しており、市から健康づくり課、介護・高齢者支援課、また保健所、地域包括支援センターも出席されている。

その中で、毎回2時間程かけ、患者さんの洗い出しとケアの方向に関して、密度濃い話し合いを行っていることを報告させていただく。

(回答)

市では、行方不明者SOSネットワークが整備されている。

全県的な取り組みとしては、「防災メール・まもるくん」に、市町村が発信する行方不明者情報も含めて配信している。また、医療分野については、専門医療機関として認知症(疾患)医療センターを指定しており、福岡・糸島地域では、九州大学病院と福岡大学病院が指定されている。

(3) その他

質疑 なし

以上で予定の議事は終了した。